いわき民報

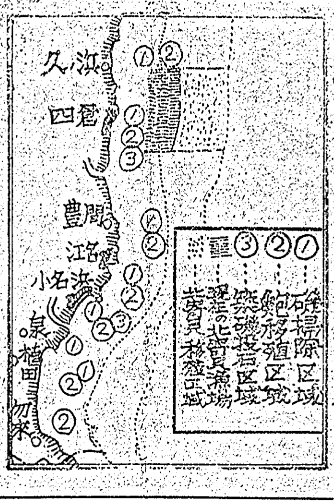
發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

石城七濱の増殖計畫

築磯や貝類移殖

十年振りに大掃除斷行

小名濱町縣水産試驗場では來年度から濱二郡下の沿岸一帶に亘り荒廢した磯にメスを入れ十年ぶりに磯掃除や投石による築磯及びアワビ、北寄貝の移殖などに乘出すため二十六年度分として四百五十万円の豫算を二月の縣會に提出することになり縣でもこの計畫に全面的に取上げて支持しているので實現の可能性が強くなつており更に繼續事業として毎年實施して行こうと平野場長らも大張切であるこの計畫を見ると相馬地方は北寄貝の移殖を行い主として石城七濱の養殖事業に重點を置いている（カットは石城七濱の増殖計畫案）



實施に作業船を建造

この計畫を實施するために縣水産試驗場では十五トンの作業船の建造を始め岩面を綺麗に掃除しアワビや海藻類の附着を容易にするため岩面掻破機なども購入する豫定、石城七濱の増殖計畫案によると次の通り

△磯掃除—岩面掻破機による磯掃除試驗は有用海藻類の害敵である石灰藻類（例えば白サンゴなど）及び雜藻を驅除し磯魚やアワビの主食である有用海藻類を繁茂させ海區を更新しようと云うもの、實施區域は小名濱、泉、江名、豊間、植田、久の濱の七ヵ所を七月より九月まで一ヵ所約十五日の割で實施する

△アワビの移殖—岩手、宮森方面から稚貝を移殖するものでこの種苗の一部には標識を施しその種類、殼長、殼幅、重量などを必要に應じて測定し棲息狀況を併せて研究する、勿來、植田、小名濱、江名、豊間、四倉、久の濱の八ヵ所を十一月中に實施する

△築磯、投石—荒癈した漁場に山石を十貫匁程度のものを選んで投石し人工築磯を作り有用海藻の附着を圖りアワビ、磯魚の棲息場を作つてやる實施區域は小名濱、四倉の二ヵ所、六、七の兩月實施する

△北寄貝移殖—北寄貝は北部の砂泥底地に多く現在の漁場は三乃至五尋の淺海に最も多く七乃至八尋の沖合好棲息海區には甚だ少ないので二乃至三尋の淺い砂泥好棲息海場より廣大な砂泥好棲息海區に移殖して增産を圖るもの四倉、久の濱の二ヵ所で三月中に實施する

二月の縣會に陳情

石城七濱の沿岸各漁民代表は海藻類やアワビ、ウニなどが減産の一途をたどり最近は生産皆無に等しい狀況にあるのでこのまま放つておけば零細漁民は一層苦しくなるばかりなので近く代表者が參集し二月の定例縣會にこれが對策を是非構じて欲しいと陳情することになつている

學校給食週間

講話やポスターで啓蒙宣傳

廿四日から

學校給食週間は全國的に實施されるが郡内では二十四日から三十日迄實施され學校給食に就いての知識徹底、榮養の涵養と食事訓練の徹底、食物と疾病に就ての知識普及家庭にたいする榮養敎育の滲透、生活の合理化、給食週間中の特別獻立、ポスター、標語、講話等を中心主題として啓蒙に萬全を期す事になつた

同週間は學校給食が昭和二十一年十二月戰後の重要な敎育施設として普及奨勵されてから滿四年になり學校給食は敎育の重要な一環として實施され學校の体位向上と生活教育の進展に效果を揚げて來たが、學校給食進展のため多大の關心を示し多量の給食物資を寄贈し又は放出されたアメリカの連合軍司令部ララ並びにユニセフの支援に感謝しその實施の反省及び將來の敎育效果を促進する機運を高めるために行うもの

學校建築打合會

縣教委石城出張所では十七日午前十一時から地方事務所會議室に管内各町村學校建築關係者を集めて六・三制施設打合會を開く

保育所を町に贈る

内郷婦人會の努力賞讃さる

内郷町婦人會は昭和十五年結成以來一致團結よく婦人の地位向上、生活改善、民風の刷新等に努力して來たが、十八年頃から保育所を建設に着手會長沼田ひとしさん外會員一同が勞力奉仕で地主柴田大助氏等の協力を得て綴字町の内に講堂一、敎室二、（延坪七十六坪）及び住宅一棟（延坪二十二坪）を新築し、同年十一月完成 終戰後建物及建築資金の殘金八千円を町に移管 町ではこれに修理改造し、文化機關として公民館に充當し二十三年二月開館以來内郷町文化の中心として活躍して來たが、去る十一月三日文化の日を卜し新婦人會長林田氏子副會長飯野初子、柴田このえさん等が發起人となり社會福祉のために使用して欲しいと正式寄附し町の保育所として出發した本來の目的を尊重し公民館を別に新設する豫定で一時元警防團階上に移し内郷町第二保育所として新發足させるため目下改裝中であり働く女性の同會に對し感激されている

南白土から夏井村へ

林道工事補助決

平市では多年の懸案であった南白土から夏井村に通ず林道開さく工事をこの程國庫補助が正式に決定したので近く着工する

この林道は延長千四百六十一米、有效幅延三米六十糎にし、十分の勾配が百米も續いているのでこれを十五分に緩和する、總工費四百万円（國庫三分の二、地元三分の一）で一部工事を第四・四半期（一月—三月）の失業對策事業として着手一日平均五十名以内の失業勞働者を稼働させる

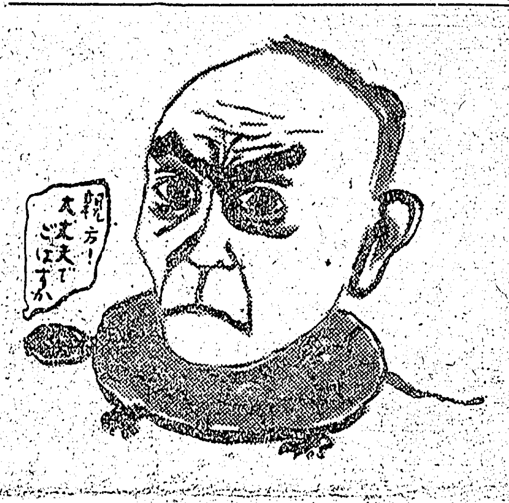
同工事は大体六月完成の豫定でこれによつて現在リヤカー位しか通じないのが自動車も入れる樣になり林産物の運搬も良くなるワケ、なお市負擔の豫算は近く開く市會に諮る

募金目標は四十三萬圓

母子援護運動

石城郡下各町村の母子援護資金募集運動は十三日から一齊に開始される、各町村の目標額は次の通りで石城地方事務所管内では總額四十三万六百三十二円で一戸平均十四円見當で街頭募金は行わない、募集目標額次の通り

泉（九、七七二）渡邊（三〇二四）植田（一四、四五三）山田（九、〇七八）錦（二四、九三一）勿來（二六、五一九）上遠野（九、二〇二）入遠野（六、一二二）川部（一〇、四一一）田人（一二、〇三五）夏井（三、七九六）高久（四二六六）豐間（八、三三九）江名（一五、〇三八）鹿島（二、九八八）小名濱（四一、九一九）磐崎（一六七〇九）湯本（四四、九四五）内郷（五九、三九八）好間（三五、七五九）赤井（一七、三九四）永戸箕輪七、九〇〇）澤渡三阪（七二一五）大浦（七、〇九二四倉（一六、〇七三）大野（六、〇一九）上下小川（七、一二六）川前（五、四六〇）



郷土の異色

おらが代議士（二）

龜に乘つて龍宮へ

繪と文 バンマロ

○…名優早川雪洲は、「眼」が彼の演技の全部であり、全生命だそうです しかし、この「眼」は、こしらえた眼です。ステージだけの眼です。ですから、舞台から離れたトタンに、眼は凡化してしまいます。ホンモノで無いからでしよう。スフだからでしよう。

○…ところが、代議士關内中老の「眼」は、ハメ込みや、こしらえものでは無いのです。少々見てつけは悪いが、純綿です 御覽なさい、電氣通信常任委員長として、あのトテッモ無いデカイ、テーブルを胸に當てデンと小柄を椅子に乘せた時のあの『眼』。そして毎日押かける陳情團員を先ず、一とニラミしてから、右ひんだりと、その手さばきのあざやかさ。さすがにあの『眼の光』は代議士の、こよなき秘書官です。

○…それでいて、あの「眼」が田舎へ歸ると、時々問題になるのです。「ニラミ」もいいが、少々きき過ぎて困ることがあると、家の小郎黨が心配しているのです。

○…しかし當さんあれでいて、根は佛のようだと云うから奇蹟です。試みに、三益愛子と三條美紀コンビ、「母ものシリーズ」を、一とくさり聞かして御覽なさい。話の途中で、鼻をチーンとかみはじめます。御涙でしよう

○…こんな風ですから、久々で歸宅すると、子供達を集めては「龜と兎」の話をきかせます。そして「おれは、きつと龍宮の親方になつて見せるぞ」と子供達をよろこばせては背中をまるくして獨り悦に入つております ホントに、邀きべべさんです。（一月十二日）

トンカツ
ビフテキ
中華そば
出前迅速
デンワ 990 バン
ブラジル
平 並木通り

精工舎の時計
平一
トキワヤ時計店

内科 外科
若松醫院
平市大町23電505

新築移店
平驛前 三十米通
服地・モミジ
エビスヤ
洋裁部開設

お茶にはじまる
なごやかな
近所ずきあい
山登園
お電話次第迅速に配達 平市大町 電話五三〇番

ピース
ユニヴァーサル ミシン
修理迅速
大庭ミシン
平市二丁目 電五六〇

江戸生蕎麦
天ぬき
鍋やき
赤垣
平新田町
電二九二

壽
初春のお買物は
新柄呉服・服地・洋品
既製洋服・靴・玩具類
趣味用品・和洋菓子
食料品各種・樂器類
樂譜・和洋食・そば
壽司其他
平驛前
電656 壽百貨店

眼科
松崎醫院
内郷第二イワキ隣
電話（湯）二二番

品質本位
家庭染料
みやこ染

平地方醫藥品商業組合

時計の御用は
正確で安いと
定評のある
誠光堂へ
修理は且親丁寧
平二銀座 電988

風味
江戸前
やぶ於そ
壽し
別製 ちらし壽し
好評 むし壽し
出前迅速
新扇屋
平市中央通り 電886

靴
御注文の靴はゼヒ當店へ！
御一報次第係員參上！
菊一
平三 電446

内科 外科 整形外科
金成醫院
金成桂一
平市鍛田町一二 電八二六番

市第四回文化講座プロ
十五日から五カ所で開催

平市の第四回文化講座プロは次の通り決つた

△第一小、二十三日午後一時半、講師榮養のはなし（片倉製糸榮養士佐々木辰男）社會生活と道德（第一小校長黒田吾之助）△第二小二十七日午後一時、講師所得税を中心としたる經濟問題（税務署長小畠繁馬）△第三小、二十一日午後一時半、講師アメリカ文學と明治文學（磐高敎官中柴光泰）外國の芝居とは本芝居（磐農校敎官八木東作）△第四小、二十三日午後一時、講師題未定（農協組合長江尻忠平）農業經營（神谷農場長荒井敬助）△第五小、十五日午後一時、講師新聞と文化（毎日新聞記者大塚正勝）未定△第六小、十五日午後一時、講師これからの農業經營（神谷農場長荒井敬助）新らしい民法（辯護士市井茂）

進むという基本方針を再確認組織問題の件は過般の各單産代表者會議で決定した總評に指向する線で進むという態度を總評の下部組織とする線に意見一致した、なお參院補選には田中利勝氏を推すことに決定、今後の地方選擧に對しても選擧對策委員會を設け組織的な動きをとることになつた

工業センサス調査
市内は該當事業所は百廿位

平市では一九五〇年の工業センサス調査を一月から二月一杯にかけ行う、この調査は昨年十二月末日を基準に市内の製造業、加工業、自轉車の新車組立て販賣、製造小賣業等に就き三人以下の事業所は調査員の聞取りによる面接調査四人以上の事業所は基本調表を持參した調査員が調べるもので市内には該當事業場が百二十程度あり内二十%は小事業場（三人以下）が占めている、調査員は一人で二十事業場の調査を受持つことになつている

貧困者に餅代贈る
小名濱　舊年末を控えて

小名濱町では十二日午後一時から第一小學校に區長會を開き舊年末をひかえて二百六十戸、七百人の貧困者に對し一人百円程度の餅代を贈る外、光勝丸の遭難者家族にも同情金をやるべく町民に呼びかけ目標を十五万円において早速募金することに決定、又國民健康保險も各部落の總意に從つて再開すべきかどうか檢討することに決めた

要求蹴らる
自勞組員ら

十二日午前十一時ごろ内郷自由勞組執行委員佐久間富代治松本自由勞組池田秀一、小宮蔭等五名は平職安所に佐藤所長を訪れ公共事業から失對事業へ就勞轉換させることを要求したが公共事業は失對事業より優先するので事業のある限り現在のまま就勞して欲しい、就勞轉換は出來ない旨回答され共産黨員なるが故に失對事業への就勞を拒否するのかと强硬にネバつたが交渉は物別れとなつた

磐炭勞地方委員會開く

磐炭勞第十一回地方委員會は十一日午前十時半から一時間半に亘り協議、新賃金問題に就き常磐等二社共斗の線に中小炭鑛がバックアップの形で

炭鑛を視察
ブランク女史

東北民事部社會敎育次長エスターブランク女史は十一日午後三時から常磐炭礦第五坑の見學のため越智副所長の案内

主食業者の登録
小名濱は十六日から

小名濱町では次の日割で主食の配給登録を實施する（括弧内は登録場所、何れも午前九時より午後四時まで）

△十六日（役場會議室）榮町、古湊、泉町、諏訪△十七日（同）中島、中通、瀬町、橫町、花畑、後宿△十八日（同）本町、竹町、汐留、岡小名、西町△十九日（同）須賀、眠島、高山、芳川、辯別、なぎさ、南富岡、日立△十六日から十九日まで（住吉出張所）大原、住吉、林城、島、金成、岩出

巧妙なニセ鐵道員
被害多く搜査開始

最近常磐線湯本驛を根城として縣下を股にかけて國鐵職員省營バス運轉士であると十數種の僞名を使用し、職員募集と稱して農家を訪ね制服、貸與されるが靴は實費だと騙して靴代を詐取、物資部から長靴又は地下足袋を世話するといつて代金を詐取、更に同僚又は主任だからといつて金品を詐取し其處で失敗すると實家まで押掛けて行つて强要ある等の手口を用いて詐欺を働き平周邊でも數万円の被害ある見込み、犯人は三十七、八才位で中肉中背で常に國鐵の制服を着用して言葉に關西なまりのある男と判り平鐵道公安室では搜査を開始したが、現在迄に判明している被害は次の通り

昨年十二月十六日湯本自動車區車庫前の同區職員田口某の留守中に外套（三千五百円相當）を詐取した、同月十八日小名濱町竹町自動車營業者佐藤虎雄（二六）さんから千五百円相當の饗應を受け更に同月廿八日頃東白河郡鮫川村の實家に現われて息子＝佐藤虎雄さん＝に現金八千円を貸したから返金せよと迫つたが未遂に終つた、今月初旬棚倉自動車區票務係東某の實家好間村三阪に現われて同區線路調査のものであると稱して米八升、現金千円を詐取其の他職業を世話するといつて内郷、湯本等で食事の饗應を受けている外多數の詐欺を働いている模樣

擔當區官舎落成式擧行

二十余年間借家住いに甘んじていた入遠野村の營林署擔當區官舎は昨秋來工費約三十万円をもつて地元櫛田忠彦氏請負にて新築中の處豫定通り完成を見たので十二日盛大なる落成式を擧行した、此の日の臨席者は地元有志八十余名を初め田人澤田、上遠野兩村長及び森林關係者二十余名の多數に上つた

引揚者住宅二棟を建築
小名濱で

小名濱町では十四坪二棟四戸建の海外引揚住宅を三月一杯までに建築することになり十三日午前十時より敷地並入札方法などについて經濟厚生合同委員會を開いた

綴保育所
事業を開始

内郷町綴保育所は十六日から事業を開始母子福祉の增進を圖る

教務主任會

石城管内小中高校敎務主任會は十八日午前九時から地方事務所會議室で開催改正給與その他に就き打合を行う

内鄕教育委員會

内郷町敎育委員會は十六日午前十時から御厩小學校に開催

常磐A連勝か
あす開く片濱驛傳競走

×……×

豫想記

×……×

一九五一年の新春を飾る陸のスポーツ大繪卷―磐城スポーツ連盟陸上部、高体連石城支部、石城連合青年團共催の「第四回片濱廻り驛傳競走」は來る十四日黒潮躍る新春の磐城片濱路三十五キロのコースに展開されるが若い力の健康美を發揮するが以下は勝利の榮冠を目指してトレーニングを續ける各チームの陣容である

十一日現在迄の參加申込みは昨年度の覇者常磐炭礦Aチーム、同Bチーム、日本水素小名濱、磐高Aチームの四チームとなつているが當日迄には磐高B、平工高A同B、平商高、上遠野村青年團、古河炭鑛、湯本高呉羽化學等が續々參加申込をする模樣で大勢を見ると常磐Aチーム連勝の呼び聲高く、これに續いて二位は磐高A、常磐Bの爭いとなるらしく、早くも興味をわき立たせている、優勝候補の常磐炭礦Aが第一區にホープ小形（昨年度記錄24分57秒）を續いて第二區工藤、第三區佐藤（猛）第四區大場（辰）第五區御代第六區高橋と鐵壁のベストメンバーを揃えれば若い力の磐高はスタートに中田・第二區遠藤續いて鈴木（幸）、松崎、戸村、鈴木（成）とチームワークの强固さを見せ、これに對して常磐炭礦Bは、高萩、中村、佐藤（次）、大平（昨年度區間記錄21分23秒）大場（德）櫻林のメンバーを揃え各れも必勝の秘策に余念がない當日の走路コンデイションのいかんによつては昨年度常磐Aが樹立した2時間30分22秒の記錄を二、三十秒縮めて2時間29分台を記錄することは確實であろう、尚當日は晴雨にかかわらず午前十時半常陽銀行前出發となつている

感心な少女達
跨線橋の雪を掃く

去る十日五年振りの大雪のため内郷町驛前跨線橋は一日平均六千人の通行人のため氷のように踏み固められツルツルしてうつかりすると滑り落ちるほどの危險さ見るに見かねた内町小六年生中野か[illegible]子（一二）さん外三名の少女達は力を合わせ汗水たらして三時間も費してやつと雪掃いを行なつたので通行人から感謝された

三縣の税務署長會議
來る十九日

十九日午前九時から平税務署に秋田、青森、岩手三縣の税務署長會議が開かれる

税務署長會議

縣下税務署長會議は來る二十八、二十九の兩日郡山市で開かれるが平税務署からは曾根調査課長、太田所得税主任が出席する、この會議で翌二月に申告する昭和二十五年度分所得税の縣下の商工業のバランスの統一に就き打合せるのでこれにより最後的課税線の均衡がきまるワケである

戸籍講座開く

内郷町青年學級は十三日午後六時から宮小學校に戸籍の常識講座（役場吏員横山傳氏）を開催した

卓球大會
來る廿一日

磐城スポーツ連盟卓球部では日本卓球株式會社の後援で二十一日午前九時から平市公會堂に選手權大會を開催する、受つけ締切りは十八日正午まで磐城スポーツ連盟宛、使用球はニッタク軟球、種目は△第一部＝（個人男女別トーナメント）昭和二十六年度磐城地區軟式卓球選手權大會△第二部＝（ダブルス男女別トーナメント）昭和二十六年度磐城地區軟式ダブルス卓球選手權大會△第三部＝（四名―六名の編成男女別）昭和二十六年度チーム選手權大會一部、三部は同一人の出場は差支えない

研究作展示會
十七日二小で

平第二小學校では十七日午前九時から學級毎に冬休み研究作品展示會を開催各クラス（三〇）から優秀作品十點を選び午後一時から作法室に展示一般にも公開する、尚優秀者には賞狀並に賞品を授與する

鄕土漫筆
高木誠一

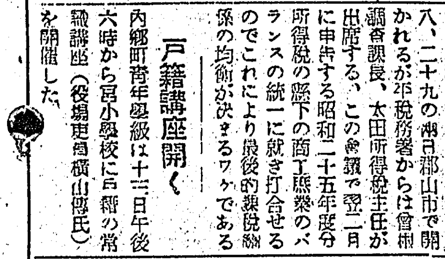
鼻取地藏

大浦村大字長友、長隆寺と云うお寺の境内に鼻取地藏と云うのがありますが昔或百姓が田植前の代かきの時鼻取の子供をひどく叱りつけると何處からか見知らぬ一小童が來て之れを見るに忍びず自ら代つて鼻取をしてくれました其の童の鼻取の工合が殊に結構なのでひどく百姓の氣に入りました、夕方になつて百姓は喜んでこれを犒らうとしますと小童は何處に行つたのか見えなくなりました。變に思つて其の後を探して見ますと近くの地藏堂の床上に泥足の足跡がべつたりとついてありましたので上つて見ますと地藏樣の腰から下を泥だらけにして御出でだつたと云う話であります、今も昔の田があるそうです、この地藏樣はなかなか親切者と見えて或年寺の小僧が雪除けに難儀をして居ると御堂からのこのこ出て來て其の手傳をしてくれたと云う樣な話もあります

この尊像は安阿彌とか云う佛師の作で今國寳になつて居ります

山の樣な農業手傳、勞力奉仕の鼻取地藏傳說は全國に數多い傳說で私のノートにある磐城の地藏傳說にも赤井村赤井字國紛出、豊間町字豊間樋口、平市下平窪安養寺、磐崎村下湯合長德寺、双葉郡木戸村山田濱、田植地藏などがあるがまだあるだろう。この樣な千篇一律の傳說は地方傳說の常である

鼻取は田植準備のシロカキと云つて馬や牛などを使つて水田をかきならす作業の一ト役として手綱の代りに竹竿の一端に繩をつけその繩をクツワに結び其の竹竿（鼻取棒と云う）を持つて牛馬を引き廻す役目で時節柄猫の手もほしい農繁期の子供の仕事であるが併し又之れにも操縱の術に巧拙は無論ある殊にカン馬でもあつたならなかなかテコズル事があるのでこの鼻取を子供に怪我もなく首尾よく勤めさせて貰う樣にここに神佛の加護を仰ぐ鄕土信仰が生れたのであるまいか、それには賽の河原の佛說によつて子供に親しみあり殊に錫じようを持つて居られる御姿勢はシロカキの鼻取をする子供が鼻取棒を持つて立つて居る所にさも似たる御態度と拜んで無理がなく田植鼻取小僧身變りにはもつてこいの御適任格の有り難い佛樣である。俗信にマンガのユウは九本で鼻取棒は九節であるから九歳の兒童は鼻取をすることを忌む習いである



日曜診療
○外科 ○整形外科 ○産婦人科 ○内科 ○皮膚泌尿科 ○レントゲン科
石城郡上遠野村
上遠野診療所
所長 [illegible] 久保田
入院の設備あり

富ヶ浦病院
院長 安田善一
副院長 佐藤正
部員 松生辰三郎
小名濱町 電三三

1月15日のお米登録はゼヒ！

平市新川町 大室屋本店 松崎長太郎
同南町七一電(呼)七 坂本米店 坂本ナツ
同南町七一電一〇〇八 白土屋米店 鍵谷健二
同二丁目電二〇八 紙屋米穀店 長瀬延太郎
同三丁目三五電三六 梅原商店 梅原利三郎
同五丁目八電二九九 三森米店 三森猪之介

眼科
女中さん募集 18才前後
安田醫院
平市紺屋町 電1225
平文化劇場斜向側

店員、四十万圓持逃げ

遭難説と二本建捜査開始

小名濱町字榮町石油販賣業株式會社龜井商店小名濱支店々員守屋晉治氏（三九）は先月二十五日錦町呉羽化學工場から集金したほか常陽銀行湯本支店から排出を受けた現金合計四十万円を持つたまま失踪届出により小名濱町署で手配中だがその後依然として手がかりがないので注目を惹いている、守屋氏は先月七日宮城縣鹽釜市の本店で新規採用になり小名濱支店に着任したばかりで近く新設する同商店平支店の責任者になることに内定していたもので家族は仙台市長町に居住、單身赴任し同小名濱支店内の佐藤支店長方に同居していたもの家族の者は僅か四十万円ばかりの金に目がくらみ失踪したとは考えられない から何者かに狙われたのではないかと申出ているので同町署では横領と遭難の二本建で進めているが依然ナゾは解けていない

て傷害容疑で十三日書類送檢

詐欺容疑者に逮捕令狀

平市鍛冶町八會社員山田敬一郎（四六）は十四年十月頃平市伊勢屋旅館内で赤井村大字赤井字窪田七三鈴木晩衛さんに對して『屑鐵十五トン持つているが一トン千六百五十円で賣るから』と僞つて内金として一万円更に運賃四千三百二十円を詐取したもので地檢平支部では被害者の鈴木さんからの告發で直ちに呼出しを命じたが出頭せず更に本年迄に前後六回に亘つて呼出しをしたが今だに出頭しないので地檢平支部石川檢事は十一日平簡裁吉井判事に逮捕狀を請求した

暴行であがる

夏井村大字山崎字山岸三傭人牧野弘（一八）は去年十月中旬ころ同村字石門一二志賀吉正さんに些細なことで因縁をつけゴム草履で同人の顔面を殴打暴行を働いた疑いで十三日平地區署から身柄送檢

義兄宅荒し

檢擧さる

住居不定無職熊谷哲夫（四一）はかねてから義兄にあたる永戸村大字上永井字永井坂農業熊谷智次さん方に手傳をしているうち昨年十一月十五日午前四時頃同家族が就寢中にタンスの中から衣類二點、腕時計一個、大豆一斗（三千円相當）を盗んで賣却し十一月二十二日午前十一時頃再び同家の留守中タンスから衣類五點（五千円相當）現金千五百円を盗み更に昨年十月下旬頃赤井村大字高萩鮮魚商稲田モトさんに對し木炭三十俵を世話すると僞つて代金三千六百円を騙取、十一月下旬頃大野村大字永友渡辺弘文さんに對して四倉町に木炭三十俵を持つているが一俵百六十円で賣ると僞つて内金千五百円と米五升を騙取したこと判り窃盗及詐欺容疑で平地區署から十三日書類送檢

怪漢に首を絞めらる

女事務員出勤途上に遭難

内郷町内町前田一七事務員佐藤茂子（一九）さんは十三日朝七時半ごろ古河炭鑛庶務課に出勤の途次同町御台境字鬼越トンネル附近で國防色の外套を着た二十二、三労働者風の男に金を貸せと因縁をつけられ斷つたところ首を絞められ現金三十円入りの財布を強奪され内郷町署に届出た

傷害で送檢

好間村上好間字小館北區二ノ七古河炭鑛勞組生產副部長採炭夫京玉武彥（三三）は十二日午後十一時ごろ酒に醉い同字山下飲食店大黒屋で、古河炭鑛北部採炭夫安田満三（二五）さんに些細なことで因縁をふつかけ棒杭で頭部、顔面を殴打全治一週間の傷害を加

えたことがわかり十四日平地區署から書類送檢

これも傷害

川前村字山白井農業宮本良直（二八）は昨年十二月七日午後四時頃泥醉して同字地内の路上で隣家の農業猪狩菊春（四七）さんに對して些細の事に因縁をつけて手拳で顔面を殴打全治一週間の傷害を與え

動力唧筒三台購入

十七日永戸村で放水試驗

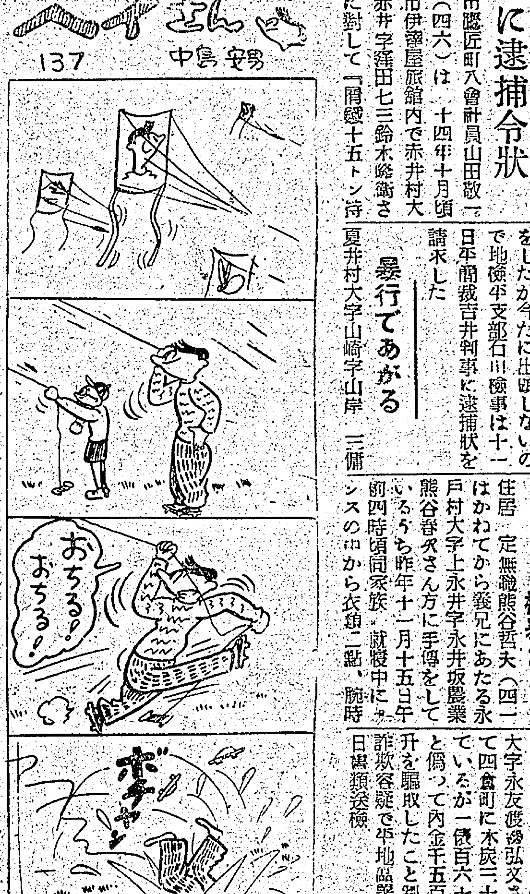
永戸村鉾輪村消防團では從來腕用ポンプの設備だけしかなかつたので時代に即應し機械化する事となり、今回トウハツ式動力ポンプ三台を購入し十七日午前十時から永戸小學校庭で關檢閱式を擧行し、その放水試驗を行う、同ポンプは腕用ポンプの二倍の放水効力を有し僅か[illegible]人の消防員で操作ができる機動性に富んでいる點消防團として理想的であるといわれている

無心に遊ぶ

春を謳歌

「こゝまでおいで大きな目玉をペッカンコ…」青いお空に眞綿を引きちぎつて飛ばせた様な羊雲がフワフワと流れ、霜どけの小川のせせらぎにもそつと春の氣ざしが忍び寄る今日此の頃、やわい初春の日ざしを浴びて無心に遊びたわむれるあどけなき子供等の姿は平和の春を迎えて悦びにウキウキとしている、イガ栗頭赤いホッペタ・希望に燃えた黒いひとみがはちきれそうな健康美をムキ出しにしている、純眞可憐な子供等の歌聲は淺春の空にこだまして平和の春を謳歌している

（寫眞は平市子鍬倉神社境内にて）


ヘイさん
137
中島安男
おちる！おちる！
ボチャン

傷害の不起訴は不當

被害者から檢審會に提訴

平檢察審査會が發足して初申立てが昨年十一月にあったが其の後申立人から取下げられて處理されずに済んだが第二回申立てが出た申立人は湯本町字三函二三七料理業青柳啓司（四九）さん々同町大字傾城字辰ノ口會社員菅野四良（五五）に係る傷害事件を昨年十月三十日地檢平支部檢察官平井大郎氏不起訴處分にした事を不當として去る十一日正式申立てたもの理由は申立人は二十四年七月十一日午後八時頃湯本町大字辰ノ口所在の東某氏宅に在宅中の知人木下金次郎氏を尋ねた所同席中の一面識もない菅野四良がかねてから申立人が町制の革新を叫んで山崎武頼其の他數名の町會議員連中の不正の一部を指摘して町民に呼びかけているのを不當であるとして全身を殴打して全治二ヵ月を要する傷害を加えたるにも係らず改心の情明らかなりとの理由で不起訴となつたが未だに謝罪の一言もなく更に改心した様子も見えないので今度の提訴に及んだものである

夜中に侵入

亂暴男擧る

山田村大字小山田字禪越七五山田川救濟工事現場監督助手山佳憲一（三二）は十日夜十時半頃就寢中の山田村大字小山田字戸ノ内五三高木乘次郎さん方に無斷で侵入し居合せた同村字上野採炭夫中山仙吉さんに湯呑茶碗を投げつけ額に全治一週間の傷を與え、住居侵入及傷害の疑いで十一日植田地區署に檢擧された

暴行で擧る

湯本町上川無職青木こと朝鮮人貞内雲（四五）は十二日午後二時半ごろ同町上川駄菓子商渡辺浪治さん方でお客の猪狩保（四三）さんに對し因縁をつけて暴行した外同家の菓子ピン五個をこわし現行犯で湯本町署に捕まつた、同貞は泉村の傷害致死事件で地裁平支部から十年の判決を受け仙台高裁へ控訴中のものである

漂流木材を買つて送檢

好間村大字川中子字八方壓一六木材、精米業土屋好守（四八）は昨年八月四日の大雨の時好間川が氾濫して上流から漂流する木材を引揚げた同村大字川中子影山好雄さんから漂流物である事を知り乍ら木材九本を八百円と酒二升で買入れて自家工場に運搬したことが判り贓物故買の疑いで十三日平地區署から書類送檢

求む!!文選工
男女不問　經驗者歡迎　委細面談
平市紺屋町
電話四〇九
加納活版所

自力で歸港できます

遭難船?から入電

十二日夜小名濱沖合で『靜岡縣御前崎港所屬第五梅龍丸』とだけ緊急通信の電波を出して消息を絶ち關係者を心配させた船について小名濱町縣水產試驗場無線局では十二日正午ごろ『皆さんに心配かけたが自力航行で歸港出來ると無線連絡があつたと發表

下宿人を求む
姓名在社④

組合取下げ

水素の問題

小名濱町日本水素のレッドパージにからむ假處分提訴問題は其の後地裁平支部で審理を續けられているが九日會社側は同社勞組＝組合長成田寛＝に關する提訴を取下げたので今後は上坂昇外組合員等九名に關する問題のみを審理する

歲末から新年にかけての宴會費は大体一人五百円が通り相場となつている處が十一日植田町のみどり旅館で開かれた濱三郡の請負業者の新年總會は一人二千円と云う豪華な會費であつた、參會者は約四十名で僅か六名の藝妓ではどうにもならず彼方此方からお酌の應援をもとめるやら近來にない大饗宴は繰り展げられた、さすがは請負業者であるだけの太ツ腹を發揮し終つて第二次、第三次會の連續で花街は不夜城と化したとか

ドロ的横行

◇小名濱町竹町一三六柳内無人氏所有第十八共德丸（三三トン）は十日夜小名濱港三千トン埠頭に繋留中ブリッチ内にあつた八インチ羅針盤一個四千円相當を盗まれた

◇茨城縣中野港所屬漁船第八笹ノ丸（九九トン）は十一日夜小名濱港三千トン埠頭に繋留中乘組員の同縣磯濱町田中留次（二五）さん外五名のゴム長靴、カッパなど身廻り品一万三千円相當を盗まれた

◇内郷町白水字廣畑九二自動車運轉手花塚博（三二）さん方では八日夜ズボン其の他八點九千八百円相當を盗まれた

◇平市新川町六自動車運轉手藤原良平（三〇）さんは十日夜七時半頃田町伊東遊戯場内で現金百三十円をスラれた

◇小名濱町字榮町九千代田重機工業小名濱事業部では十二夜作業船永勝丸（八トン）においた潛水中鎧及金具など二万円相當を盗まれたが十日には作業船のスクリュウらとシヤフト三万円相當も盗られている

天氣予報

十三日

【今晩】北西の風一時やゝ强くよい天氣、明朝一時曇る

【明日】北西の風一時やゝ强く始め割合雲多いが日中晴

【明後日】北西の風日中一時南よりの風よい天氣、海上は季節風により風波があるから漁船は注意、なお空氣が乾燥してきますから火の元に注意

ラジオ

JOCP JOHQ 【14日】ローカル 郡山放送

前七・一五 心の灯 藤森信輝

★15日

後六・三〇 文化便り「卯年隨想」福島民報郡山支社長三田英一

浄蓮院葬送の際は御多用中の處遠路態々御會葬下され御鄭重なる御弔辭御香奠を賜わり誠に有難うございました
早速參上御禮申述ぶべきところ略儀ながら紙上にて御禮申上げます
昭和二十六年一月十二日
平市田町七二
喪主　安齋徹
親戚總代　山田眞人
寺島榮介
友人總代　清水廣政

好間村金庫開設
本年一月四日より當店に好間村金庫を開設致し同村役場に毎日當行員を派遣して村金庫事務を御取扱い致して居ります
ついては今後好間村の税金受入諸支拂等は當店にてもお取扱致します故是非御利用願います
平市一丁目　電二〇・六四三
常陽銀行平支店

社員を求む!!
男子社員　若干名
有識奮鬪の士　年令五十才迄
十六日午前中　履歴書持參のこと
株式會社　東京商工興信所平支所
平市田町七二　電三八二

開店御披露
新年お目出度うございます
このたび江戸風造りの美味小料理を始めました
何卒御引立のほどお願申上げます
御座敷　天ぷら
水たき、御雜水
鍋燒き　おでん
花長
平市新田町中央
電（呼）二五二

八正直デス
神戸牛專門店
日本畜產代理店
平市銀座通　電二七一

外科
【入院隨意】
松田病院
小名濱町驛前通り
電四三四番

一月十五日のお米登錄は
馬目精米所に
丸玉
ゼヒお願い致します
平市土橋角電一〇一

特別試寫室を完成
小名濱で東北のトップ切る

小名濱町の映畫常設館金星座では東北地方のトップを切つて特別有料試寫室を完成、『銀映』と名付けて近くデビューすることになつた、この『銀映』は幅三間、長さ五間の小じんまりした試寫室でこの道では日本一の定評ある東京の柳屋製の折疊式四十人の指定ボックス及びスクリーンリノリウム敷の床などが調和して映畫ファンには絶好の試寫室、最優秀なトーキーのアンプ、防音装置、場内には映畫スターの原色ブロマイドが掲げてあるのも同館の自慢、映寫室、耐火構造工事が完成次第、ここ數日中に一日四回位の割で試寫を開始するが封切には早川雪州の『レ・ミゼラブル』を豫定している、入場料は一人百円の見込みだから町内ファンの好みによつてどんな映畫でも持つて來る方針でファンの聲を聞くため場外にはどんな映畫を見たいか投書函を設置する計畫であると云う（寫眞は銀映お自慢の場内）

岩城史發刊
海外協會圖書館で

石城郡鹿島村の舊家志賀哉氏所藏の〃岩城史〃に高萩精玄氏が校註を加えた〃岩城史〃が今回平市鍛冶町六の志賀氏の主宰する海外協會圖書館から發刊された、岩城九代史が詳細に記載されて居る外郡下の公職關係者名簿が附され四六版一五六頁の優美なものである、希望者には海外協會圖書館で實費頒布する

歌集出版記念歌會を開く
來る廿八日

石城歌話會では年刊歌集を出版記念の歌會を來る二十八日九時半から平市公會堂日本間で開く、詠草近作一首を廿五日までいわき民報社内歌話會宛送ること當日會費は五十円

根氣て不良化を防止
内郷で既に廿一回懇談會開く

内郷町公民館主催不良化防止懇談會は町内部落館三十三カ所で昨年九月以來三次に亘り〃後二十一回續行されて來たが、回を重ねるに從つて婦人の出席者も數を増し一部落五十人平均の參會者があり積極的な家庭の協力が如實に示されている、他人の子供に對する關心も漸次大きくなり今後の成行きが注目されている、同懇談會では五日制の廢止の聲が大きく土曜日を放任せず學校で適切な學習指導を實行されたい、新制中學を卒業しても上級學校に行けず或は農村と異なり就職出來ず家事手傳などの方法もなく、結局遊び暮す外ない特殊環境にある炭鑛街の青少年達にに不良化してゆく暇と機會が多いため、この野放しの職場を持たない青少年達を如何にするかの二大問題を中心課題に今後第四、五次の懇談會を展開する構想を練つている

中學卓球
廿日に大會

中學校体育連盟主催の石城郡下中學校卓球大會は二十日午前九時半から草野中で行なわれる

星警部補榮轉

植田地區警察署警部補搜査係長星貞四氏は今回郡山警察署搜査係長に榮轉、十四日赴任する氏は同署に在勤六年此の間犯罪檢擧に貢獻する處大きく一般から惜まれている、後任は縣人事裝備課共田警部補と決定近く着任する

父の手紙
内木宗八

カットは中西一路畫伯

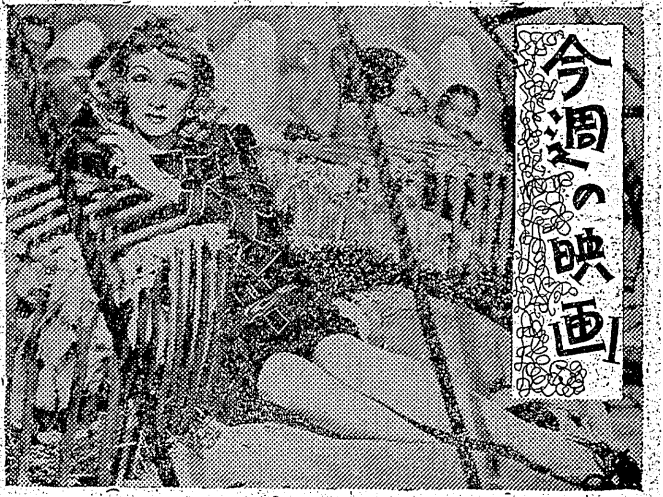
暦日は小寒に入り、磐城平はかなり寒い。落葉しつくした無花果の古木がリウマチの指の様な小枝をくねらせて、その先端に青い新芽のようなものが出て居る垣根の裾の藪柑子の實がやけに赤い。そんな一日、商賣も閑散で、がらくたを整理して居ると、一束の古手紙を發見した。いずれも廿年以上も昔の古手紙である中に亡父の手紙が四、五通混つている。時代から見ると、亡父の晩年の手紙らしい。亡父の晩年は私の學生時代の終期から醫者の卵のその又初期である。遠く隔つて居た六、七年の間に父からはもつと手紙を貰つたかも知れないのに何故その四、五通だけを保存しておいたのであろうか。特に亡父の晩年の手紙だからと考えたせいもあろうが、或はその四、五通が父からの手紙らしい手紙の全部であつたのかも知れない。何故かと云うと、父は非常に性急なたちであつた。風呂に入るのに、湯加減を見ないでいきなり手桶で湯をかぶり上半身に輕い湯傷（ピリピリ）する程度であろうか）をおつた事のある程性急であつた。したがつて私の學資を送つて呉れるにも封筒に爲替を一枚だけ封入して來るのが普通で、お愛想にも自愛すべしとか、節約すべしとか、努力すべしとか注文したり、家庭の近況を細々報じたりすることは滅多になかつた。夫に對して私も亦、爲替受領せりと云つたような電報の少し氣の利いた程度の返事を出すのが普通であつた。事實大正の末年昭和の初頭の庶民には、そう毎月毎月報告しなければならないような生活上の變化があつたわけでもないし、學生は學生で、現代の學生には若干濟まないような氣もするが、極く特殊な場合を除いては、アルバイトと云つたような切羽詰つた心の重荷もなく、今から見れば何百分の一の學資で、毎學期毎學年與えられた科目を坦々として格別の野心もなく復習して居たに過ぎない。とは云つても夫は極く概念的な時代觀であつて、個々の家庭、個々の學生には夫々報告したり意見を徴したりする事件や變化がたまにはなかつた譯ではない。そしてそれが珍らしい亡父の四、五通の手紙なのである。只父は手紙の形式を整える爲に殊更に月並な文句を書き並べて筆墨を浪費する程悠長でなかつたと云うにすぎない父の字は別段達筆でも能筆でもないが、骨張つた字を非常なスピードで走りがきしたと云う字で、かなり特長がある筆蹟と云うものは寧ろ指紋よりもその人の個性をよく現わすと思う。私は生來の悪筆で殆んど字の態をなさぬ字であるが、これでも人が見ると私の字になつて居るのかも知れない。筆蹟の個性は自分では意識しないものである。丁度自分の聲や歩き振りを意識しないのと同じである。私は毎月仕事の上で、或る重要な書類を福島のある事務所に送る。これは醫者なら誰でもやつて居ることであるが夫を送るのに書留では金がかかるので、普通郵便で、その中に、受取りの端書を先方から出して貰うように裏面も表面も書いて同封する。つまり自分で自分に端書を出す譯だが、いや人から自分に來る端書を自分が代筆する譯だが、ふとその端書を受取ると、先方の人が書いて呉れたような錯覺に陥ることがある。夫程私は自分の筆蹟を意識しないし、又夫程私の字は平凡である。

さて父の手紙であるが、その一通に、多年患つて居る糖尿病の近況を報じたものがある。その文中に脚の神經痛に苦しむが、これは平常自分は正座する習慣であるので、脚の血管か神經が硬化したものであつて、糖尿病とは無關係であろう要するに糖尿病の病勢は惡化して居るとは思わないと云うところがある。或は糖尿病性の神經痛であつたかも知れないものを強いてそう考えざらんとして居るところは、いじらしくもあわれである。追伸として、年末の歸省待ち居り候とかき添えてあつて、この追伸は父がすでに自己の斜陽的狀態を意識して居たせいかも知れない。又別の手紙には私のすぐの妹の子供、亡父にとつては初孫であるところの子供の出産に、就いて多分私が男児出生母子健とでも云うような電報をうつて滿して居たのであろう、母体の恢復は順調なりや、子供は豫定の如く發育し居るや、貧弱なる体格にあらざるか等々今少しく詳細に報告すべしと云う意味のものがある。この初孫が生れて一年足らずのうちに、父はおさらばしたと思う。

何故私が初冬の日溜りでふと讀んだ亡父の古手紙などを、ここに持出すのかと云うと、人の、殊に故人の追憶と云うものは、ふとしたはずみで非常に強く胸に來るものであると云うことを云つて見たいためである父が晩年、友人の手引で、丸鑿で、盆や硯箱の蓋に、手なぐさみに佛手柑や桃を彫つた木地のままの拙い未完成品を發見した時や、久しくあけなかつた手文庫の中に、古い小ぎれの一重ねを發見した時に、亡父や亡母の面影が彷彿としてまぶたに浮び、時には故人のほのかなにおいをすら感ずることがある。欄間に麗々しく掲げた紋付姿の老人のすすけた寫眞を至るところで見るが、殊更に後世に殘さんとした肖像畫などと云うものは、あまり感銘を催さないものである。私も一寸の間やつて見たが一向見知らぬひとのような感じさえするのである。頌德碑だの記念碑だのに至つては、後人の教育資料としては兎も角、故人の追憶のよすがとしては心理學的に何の意味もない。

かつて鎌田山上に出來た元文義民の碑の除幕式に、何のわけだか招かれて列席したが、二百年前の見たこともない義民諸氏をしのぶよりも、碑文を讀んで居るうちに、その作者で一寸前に物故された猪俣金五郎先生を追想する感慨の方が痛切であつたと云うようなつむじ曲りのことを云つて見たい爲である（一、五）

今週の映畫



男装デートリツヒの魅力
南海の港町を舞台に繰擴ぐ

妖花（ユニヴアサル映畫）

美人唄女ビジューは行く先でいつも大騒動を起し南海の島々を渡歩く、水兵上りの用心棒ネッドとスリの天才サッシャをつれて住込むと海軍士官ブレントと戀に落ちる、ネッドが眞心でビジューに意見するので彼女もブレントをあきらめるが彼女を追うギヤングのアントロとブレントの大亂斗となり結局アントロを倒すがブレントものされる、ビジューとネッドは彼を艦へ送り込み傷心のビジューはまた旅へ出る、デートリツヒ主演ユニヴアサル四〇年度作品（十六日より五日間聚樂館）

緋牡丹盗賊

五代綱吉將軍が人よりも犬をえらくする法令を出すがこれにさからう緋牡丹盗賊がいた、お柳の父仁平に害を加えようとするので鬼同心前島は彼をおとりに緋牡丹を捕まえようとするお柳の戀人佐太郎（嵐）が盗賊と目されるが彼ではなさそう、彼はお京さま（喜多川）を救うが彼女は心よく思わぬ、御落胤お京とお柳は寶は取替えられた仲でありその秘密が明らかになる、門付けの子だつたお京に佐太郎は愛の言葉をささやく、角田喜久雄原作、安達伸生監督探偵時代劇（二十日より世界館）

奧樣に御用心

そもそも事の起りは相澤（若原）が仕事上辰野爵伯（森）と酒を呑みすぎて結婚記念日を忘れたためで妻福子（田中）がおこつて別室にその夜はねる、それから家を飛出した福子はクラスメート町子（淡島）に會い主人の佐藤（日守）と辰野を中にまずくなつているのを知つて町子の芝居が始まる…結局佐藤と相澤はニセの旅行を装つて妻の行動をさぐるが何事もない、結論貴女が心配する程貴男が氣をもむほどトラブルなんてない、監督中村登喜劇（十五日より平館）☆

エノケンの豪傑一代男

彌九郎太（エノケン）は忠義一徹だが生來の大あわて者、武田徳川の戰に家康を救い加増お墨付をもらうが字がよめないので切腹のお墨付きと早合點する程、荒馬から救つた糸姫と戀仲になるがかの女は深雪と瓜二つなので親友伊織の戀人と間違えたりする、信長の使者に立ち大小三十余の向う傷をみせて成功、親友伊織と二組の結婚式が行われる陣出達朗原作荒井良平監督喜劇（十七日より三日間平文化）

天保水滸傳大利根の夜霧

天九保年笹川と飯岡は利根川をはさんで對持した、大原幽學（嵐）は百姓を集めて人の道をとき双方の邪魔となる笹川の用心棒平手造酒は大原を殺そうとして逆に彼の高潔な人格にひかれる、ついに笹川飯岡の一戰、平手はお糸（花井）の手にだかれて死に役人ににらまれた大原は百姓達に見送られ引立てられる、監督佐伯清時代劇（二十日より四日間平文化）

16日より
ユニバアサル映畫
マレーネ・デートリツヒ主演
妖花
あだな女の行く港
戀の怒濤
鐵拳の嵐!!
聚樂館

15日より
奧樣に御用心
田中絹代　若原雅夫　淡島千景　森雅之
豪華四大スタア空前の顔合せ
大船獨特の明朗爆笑大作!!
結婚三年目に倦怠期が來るというのは本當でしようか？これはあなたの御家庭にもありそうなお話です！
平館

CURRY POWDER
ミッキーカレー粉
平市五丁目　電376
佐藤商店平支店

お電話で直ぐお迎ひに參ります！
御旅館　小瀧　福島縣小名濱港　電話・一〇三番
新年會は小瀧で！

斯界の元祖
[illegible]
だしもよく出る
おさかなもなる
製造元　福島市　富士和產業株式會社
浜通り特約販賣店　四倉町　電話一一番　合資會社　菊川商店

五一年の服装の店
新型セビロ　ズボン　オーヴア
ジャンバー　メリヤス　セーター
平市　中央通り　銀座通り　盛高屋　電話一〇九二番